

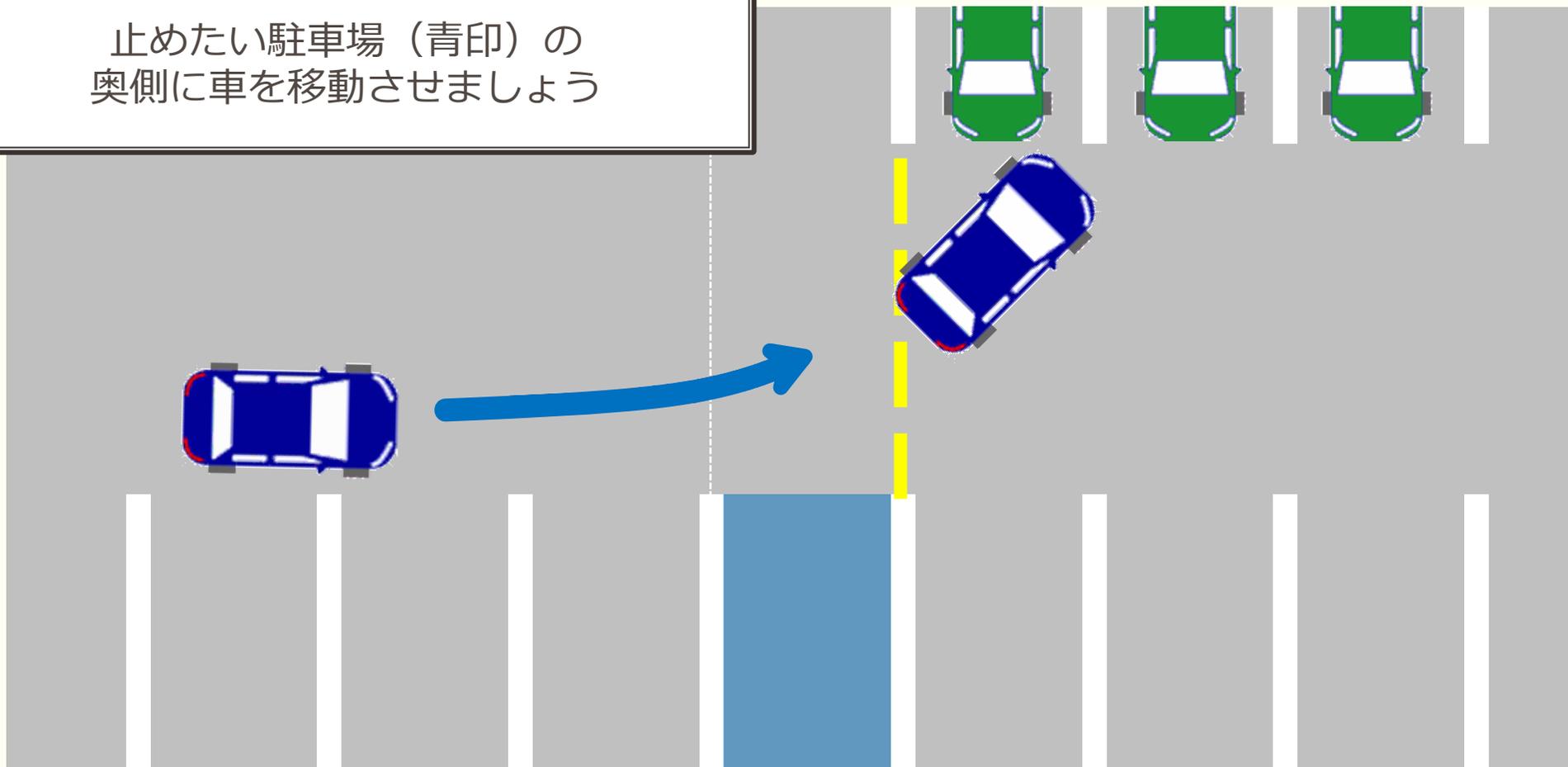
駐車編



ポジション取りの考え方

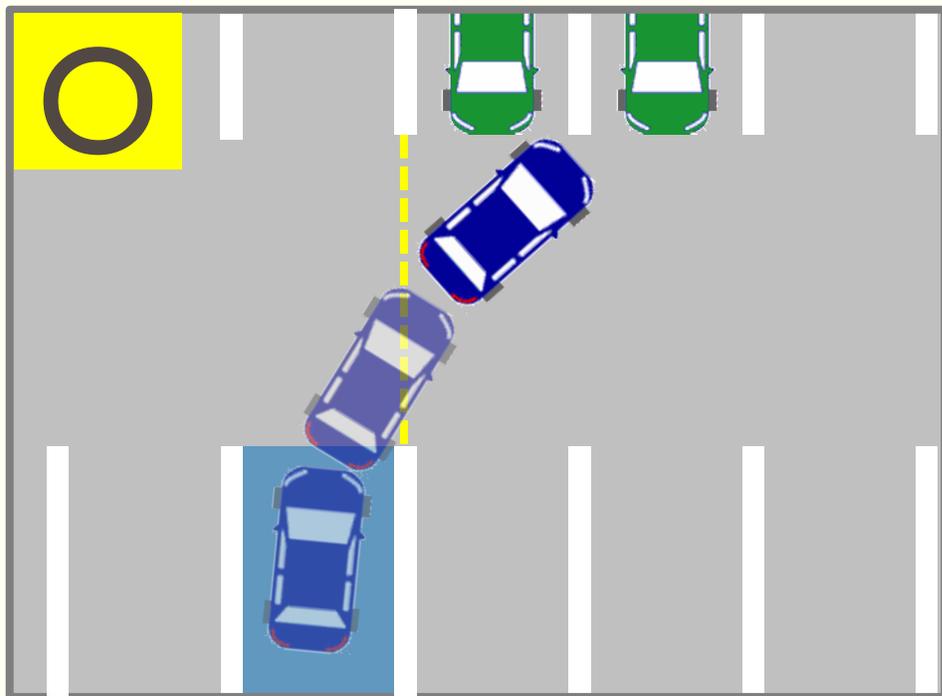
ベーシック
トレーニング

止めたい駐車場（青印）の
奥側に車を移動させましょう

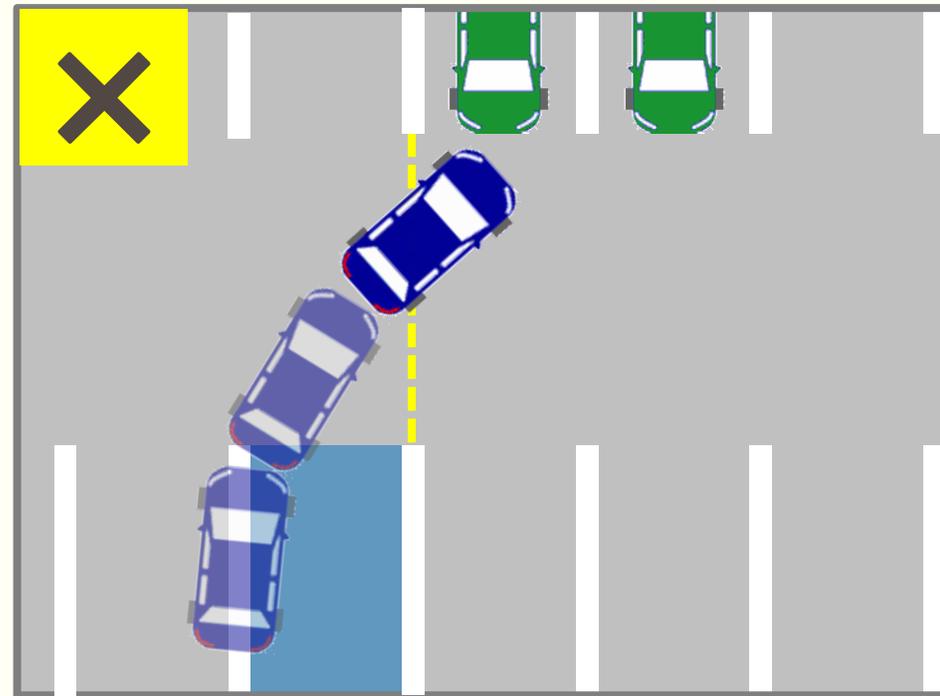


ポジション取りの考え方

ベーシック
トレーニング



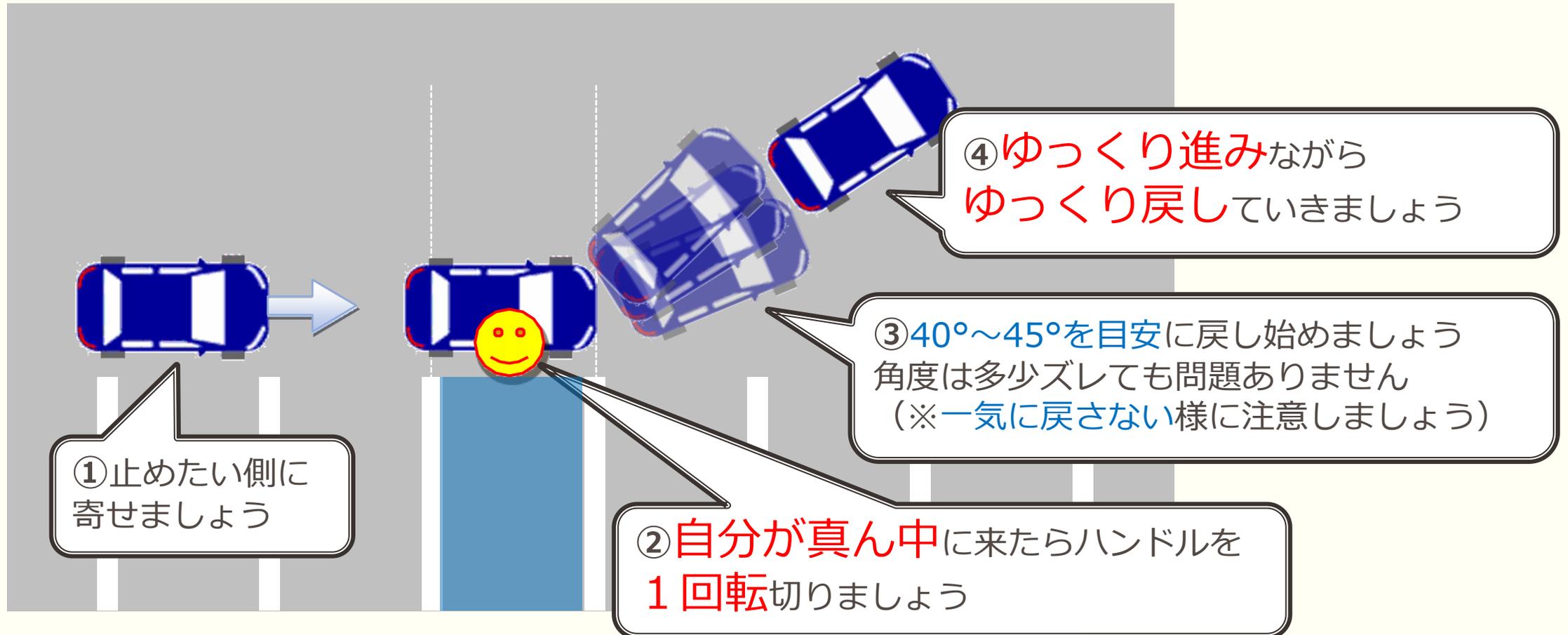
車体が線を越えている
→センターを狙えるポジショニング



車体が線を越えていない
→アウト側に流れる要因になる

ポジション取りの手順 (45°の基本系)

ベーシック
トレーニング



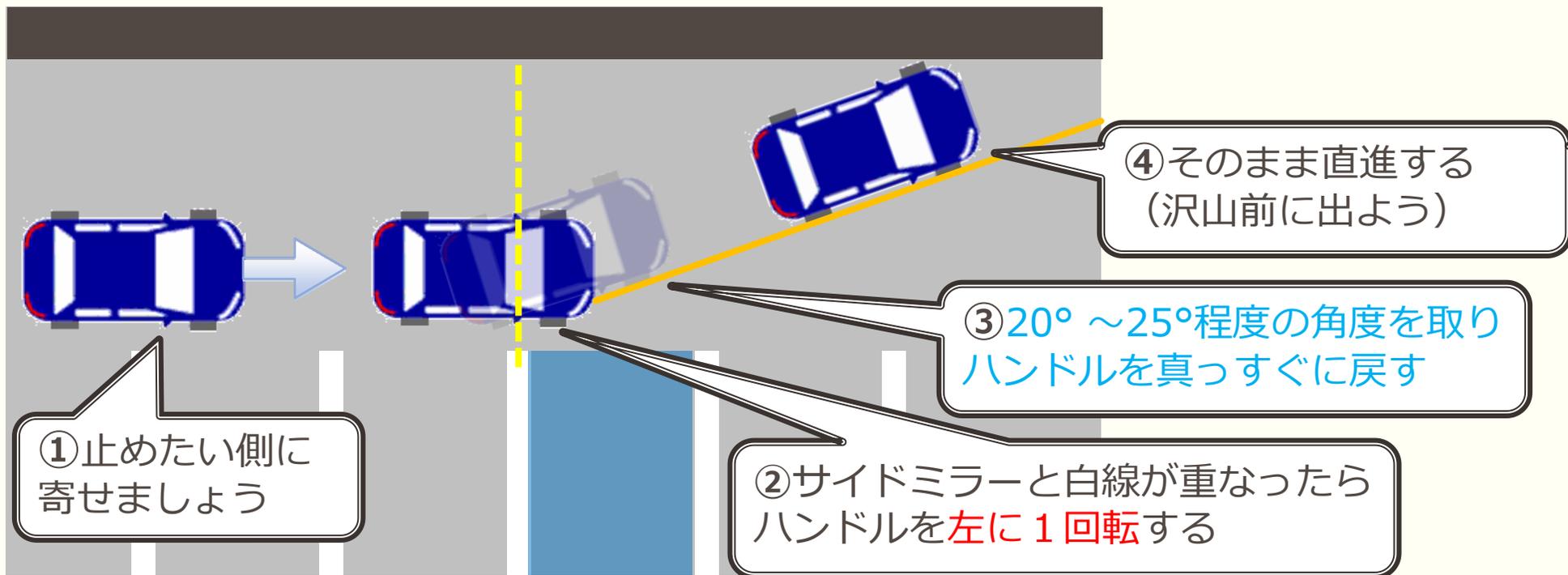
狭い場所でのポジショニング

【メリット】

- ・ 地力が向上し本当の意味での上達する
- ・ 対応力が身に付く

【デメリット】

- ・ 厳格な車体感覚が要求される
- ・ 身に付くまでに時間がかかる



広い場所限定ポジショニング（インスタント駐車）

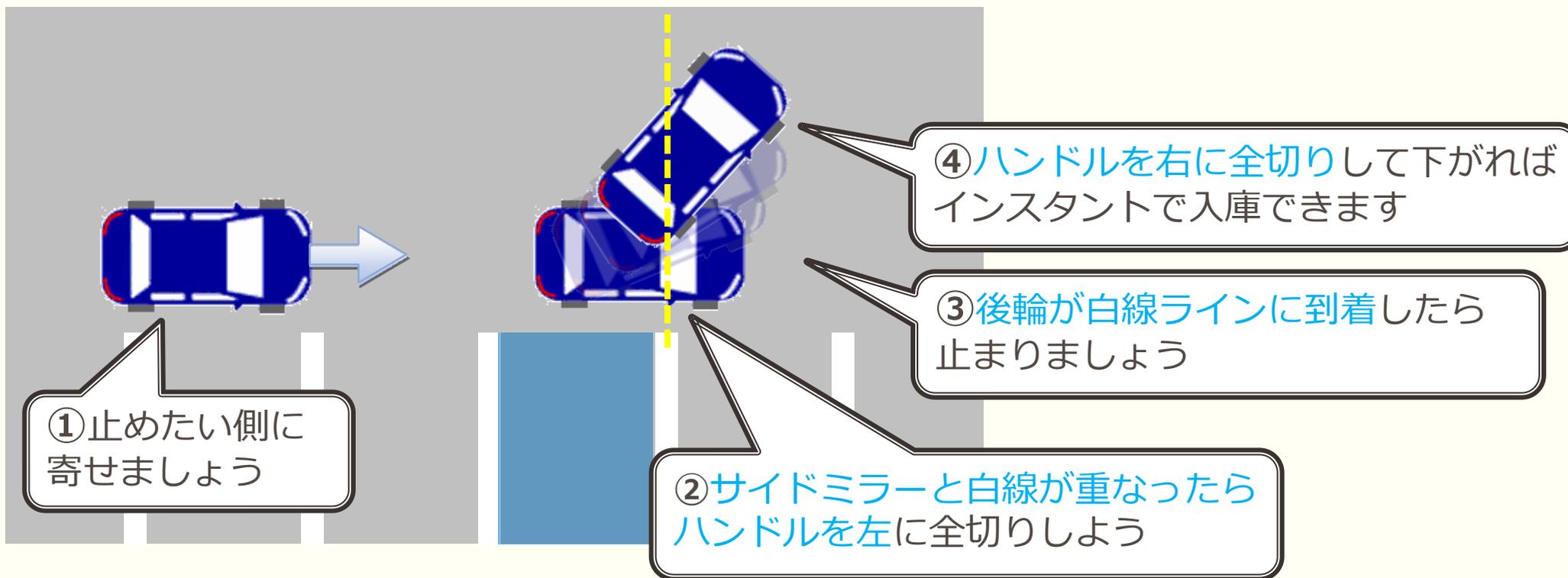
応用

【メリット】

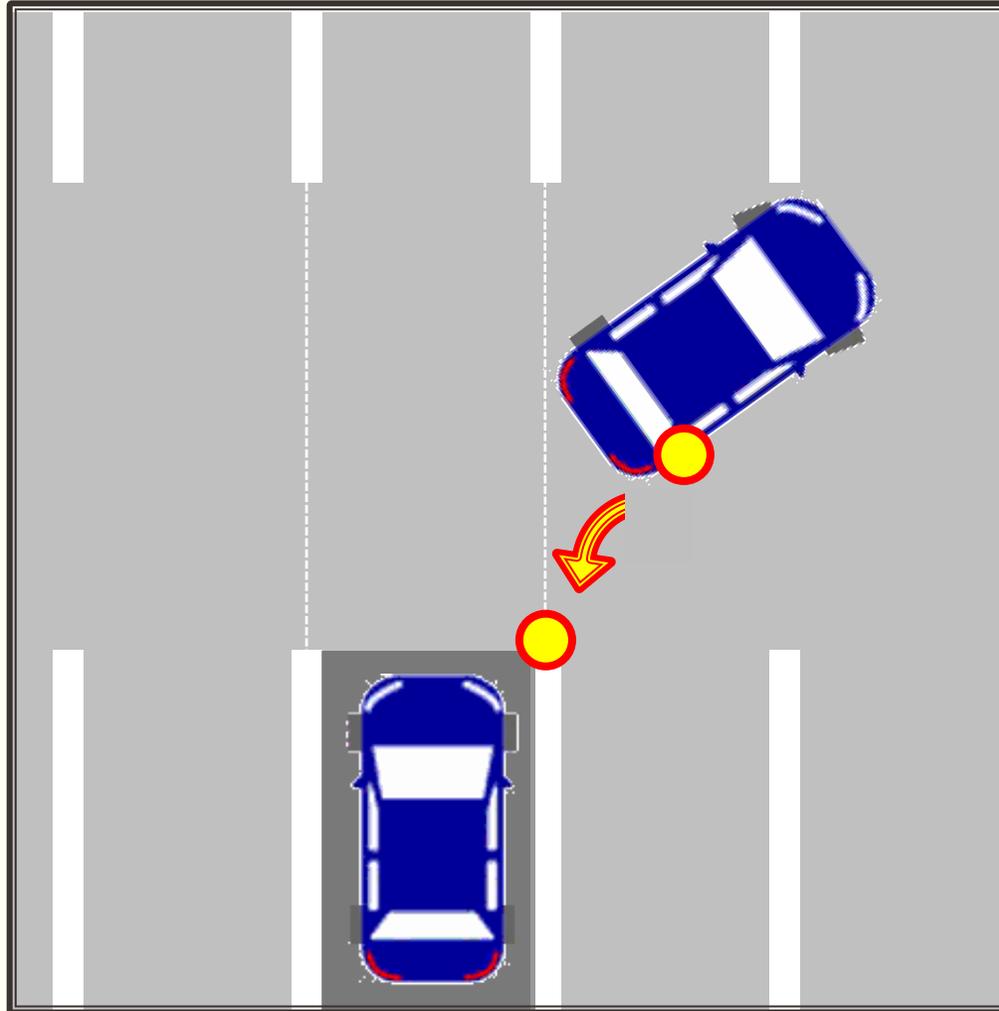
とてもかんたん（＝インスタント駐車）
旅行先だけで必要な方等には向いている

【デメリット】

対応力や本当の実力が身に付かず
都合の良い駐車場以外は止められない



入庫時に見る場所と意識ポイント



見る場所

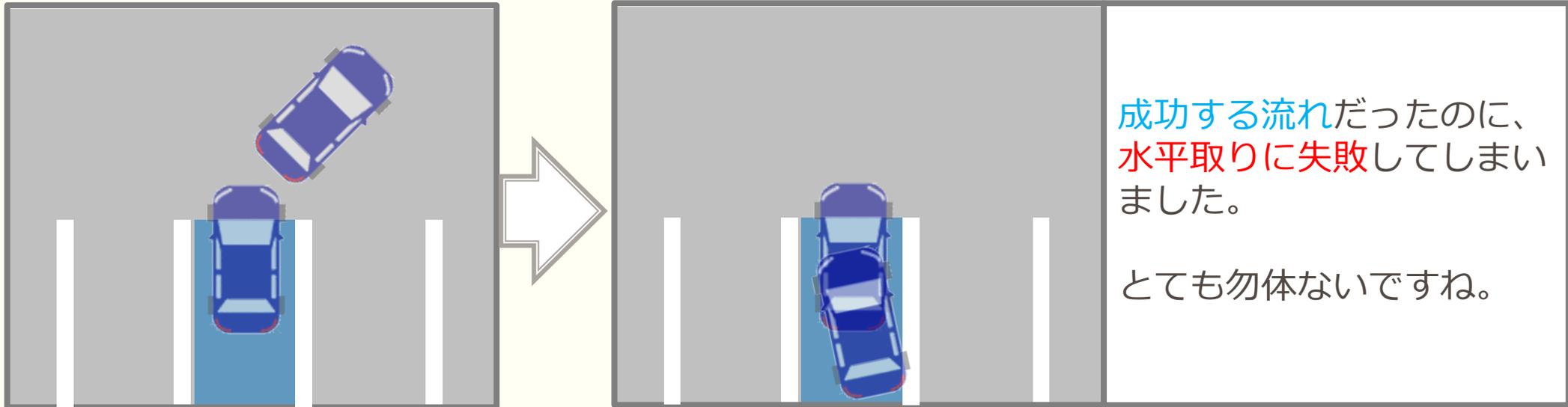
- ① 右後方を目視
- ② 右のサイドミラー

窓を開けて、白線の位置を確認しましょう。

意識ポイント

右後輪と**白線の先端**を
意識して下がってみましょう

平行取りを大切にしよう



水平取りを成功させる方法

- **止まってからタイヤを真っすぐ**にする（そのままストーンと下がる）
（※慣れてきたら動かしながら出来るようにしていきましょう）
- **タイヤの真っすぐの取り方を理解する**（次ページへ）

ハンドルのセンタリング

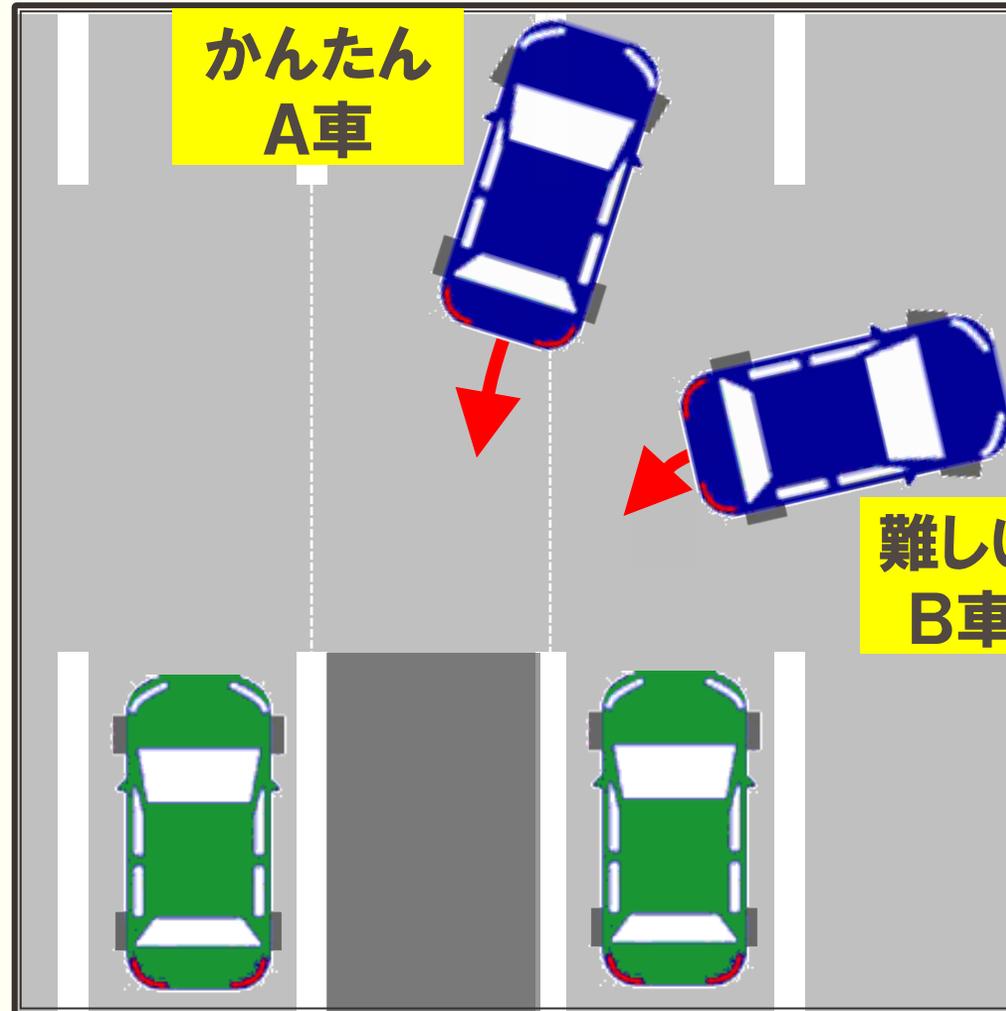
トレーニングA 限界値

止まった状態でハンドルを回してみましよう。
概ね「1回転半」で限界がやってきます。
限界から「1回転半」戻すとタイヤは「真っ直ぐ」に戻ります。

トレーニングB ハンドル先生

ハンドル（=タイヤ）が曲がっている状態で前に進むと、ハンドル（=タイヤ）は真っ直ぐに戻ろうとします。
ハンドルが戻った方向に「真っ直ぐ」があります。
解らなくなったら、少しだけ前に出て、ハンドルの戻る方向を確認してみましよう。

入庫の考え方



入庫の考え方

車の角度が立てば立つほど、入庫は簡単になります。

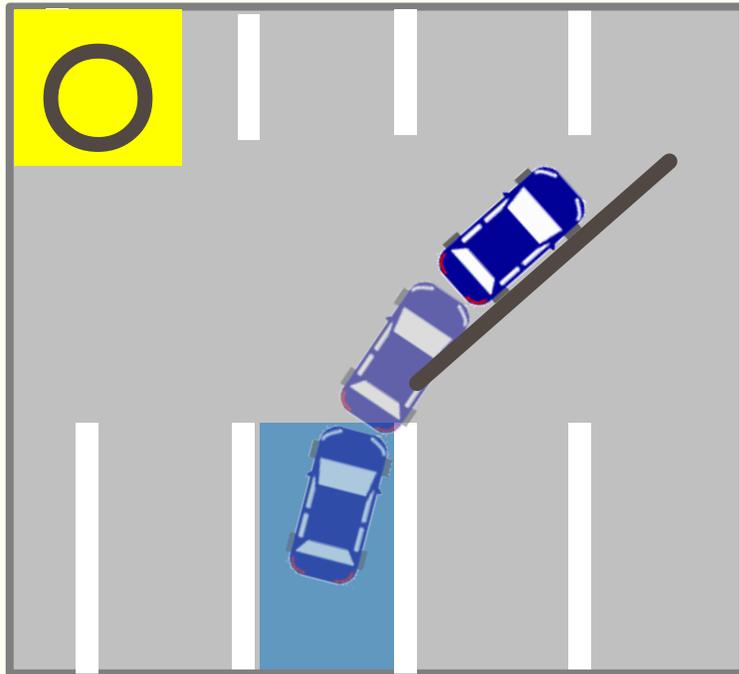
【A車】

とても簡単に入庫できます。
しかし、この角度調整を許してくれる駐車場は殆どありません。

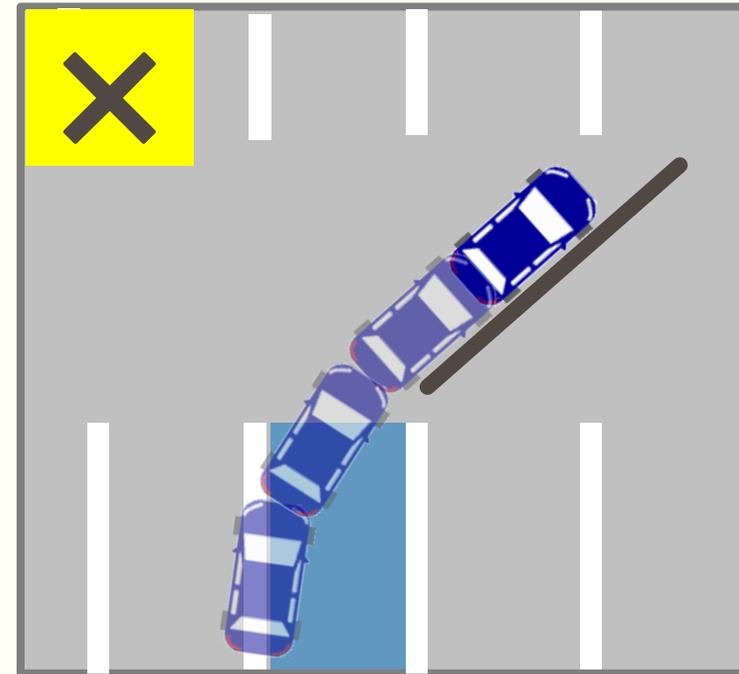
【B車】

寝ているのでとても難しい入庫になります。
このようなポジショニングを強いられる駐車場は現実にあります。

入庫を失敗しないポイント



下がりながらハンドルを回しています。
角度を取りながら下がれているので、狙った場所に入庫が出来ます。

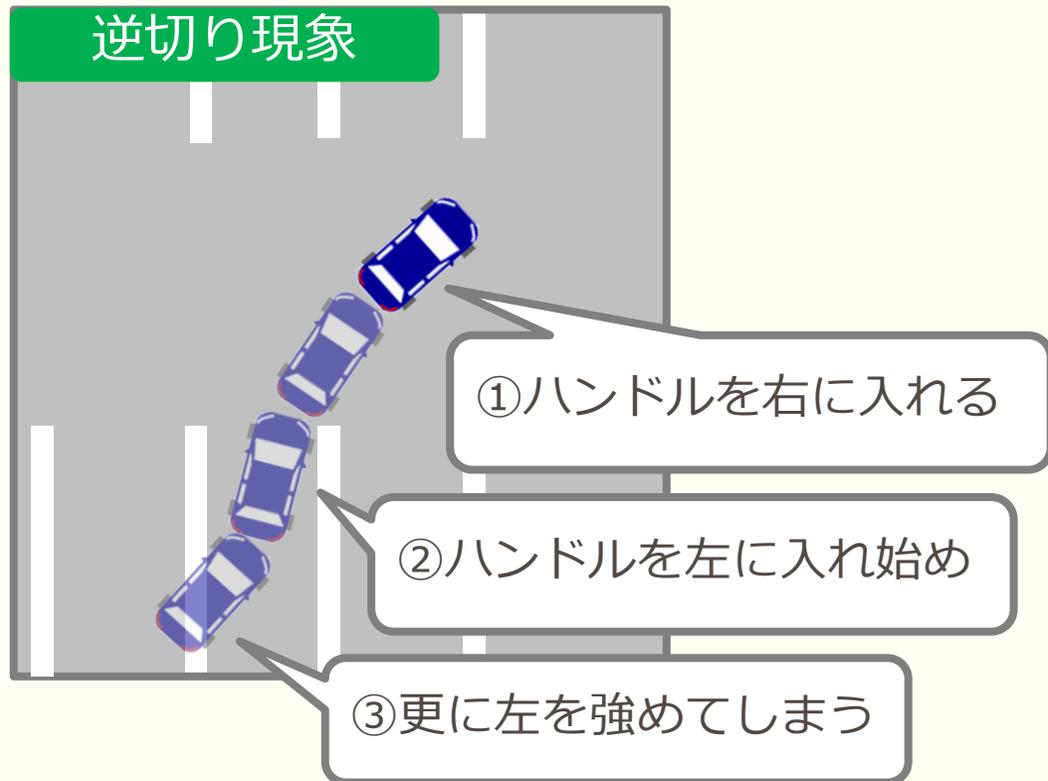


まっすぐ近づいてから一気にハンドルを回しています。
角度を立てる意識が無いと、アウト側に流れてしまいます。

逆切り現象

応用

逆切り現象



逆切りを防ぐために

【原因：錯視による混乱】
サイドミラーだけを見ていると、「離れていく感覚」に襲われます。そのため逆方向にハンドルを入れてしまいます。

【対策1】
右に切って固定を続ければ、必ず水平がやってくる（まずは頭で理解しよう）

【対策2】
目視をする
たまに前も見る

ブレーキ意識を大切に

入庫時の土台になるのが**ブレーキングコントロール**です。
失敗の多くに「**足元の意識飛び**」が絡んでいます。

【目】 → 目標意識

【手】 → ハンドル意識

【足】 → ブレーキ意識

3つの意識を同時に保っていくことが大切です。

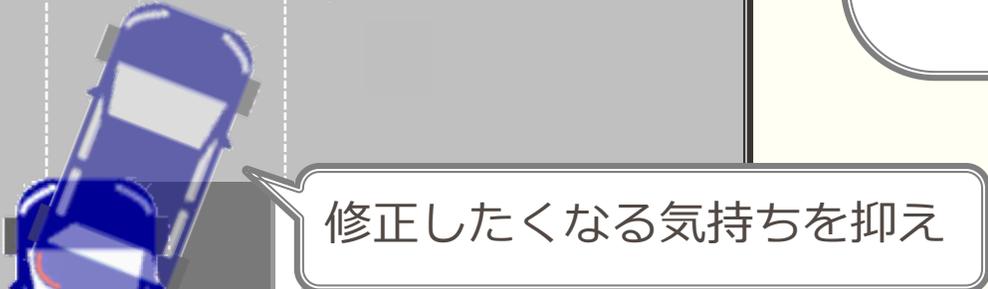
入庫の上達の秘訣

ベーシック
トレーニング

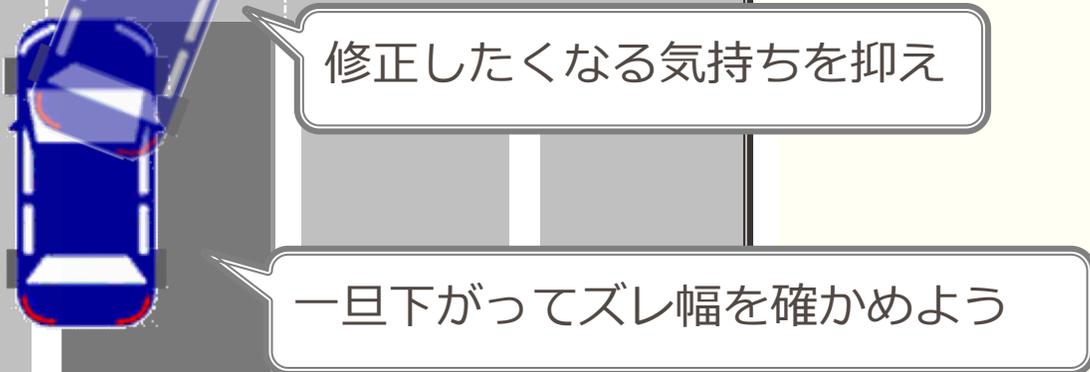
上達の秘訣

入庫の初期トレーニング時は、ズレ幅を確かめることが大切です。

まずは切り返しをせず、自分の入庫感覚を確かめて、次に繋げていきましょう。

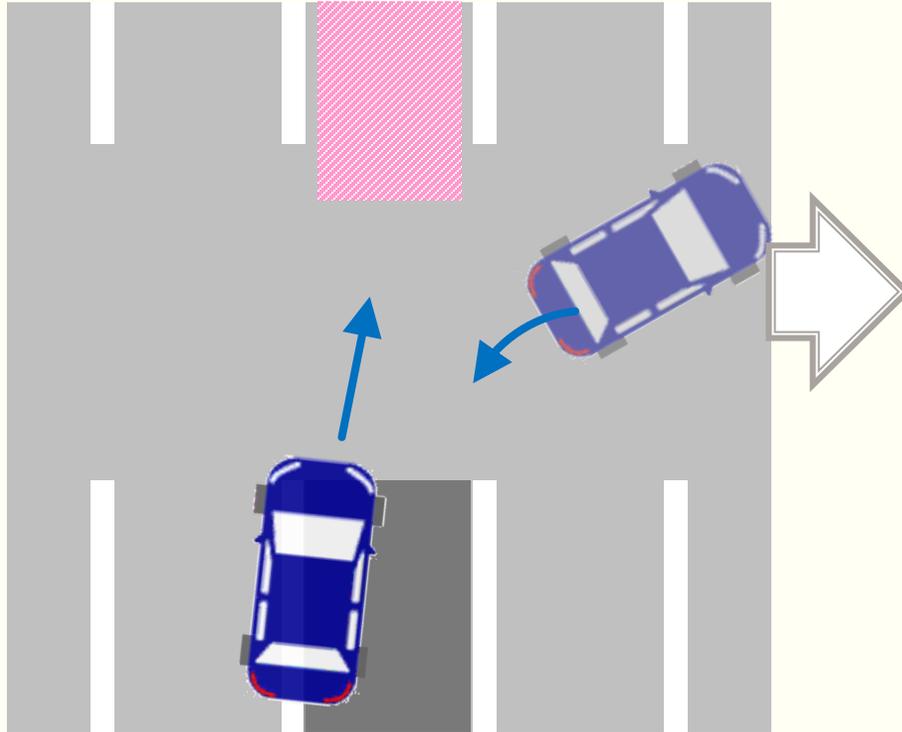


修正したくなる気持ちを抑え

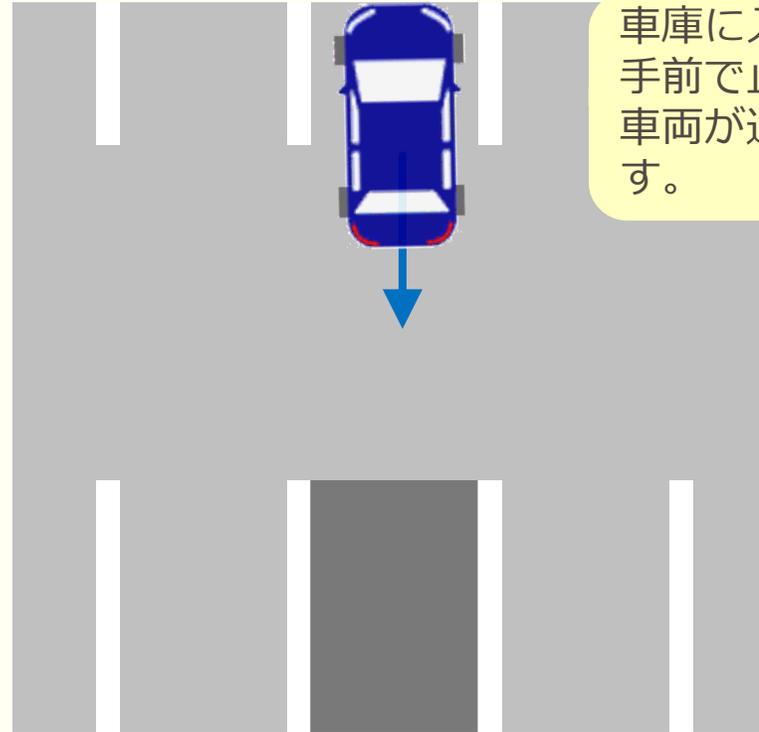


一旦下がってズレ幅を確かめよう

アウト側に流れた時の切り返し_センターポジション



アウト側に流れてしまったら
ピンク部を目指しましょう

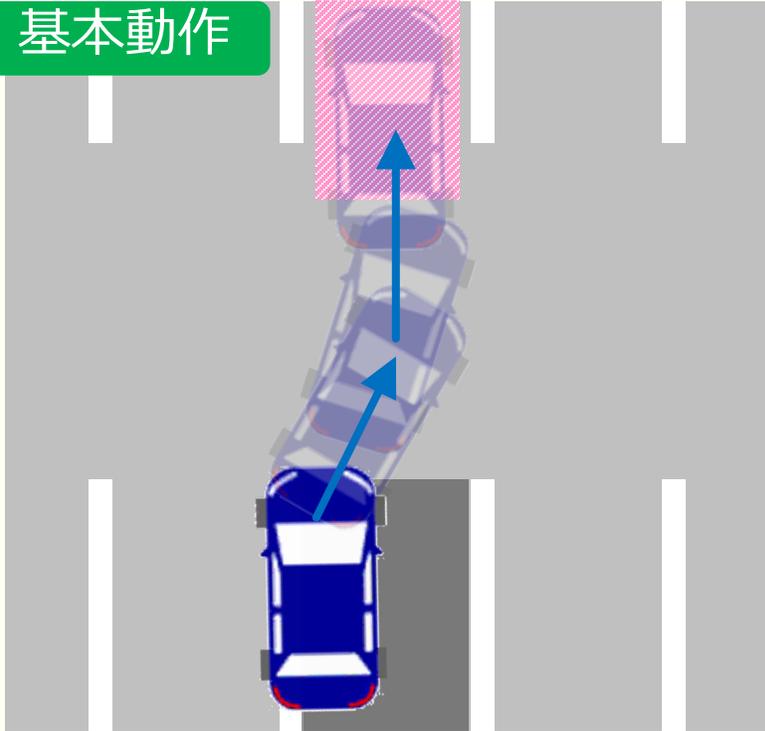


車庫に入れ切らないで、
手前で止まりましょう。
車両が通過してしまいます。

ここにポジショニング出来れば、
後は下がるだけです。

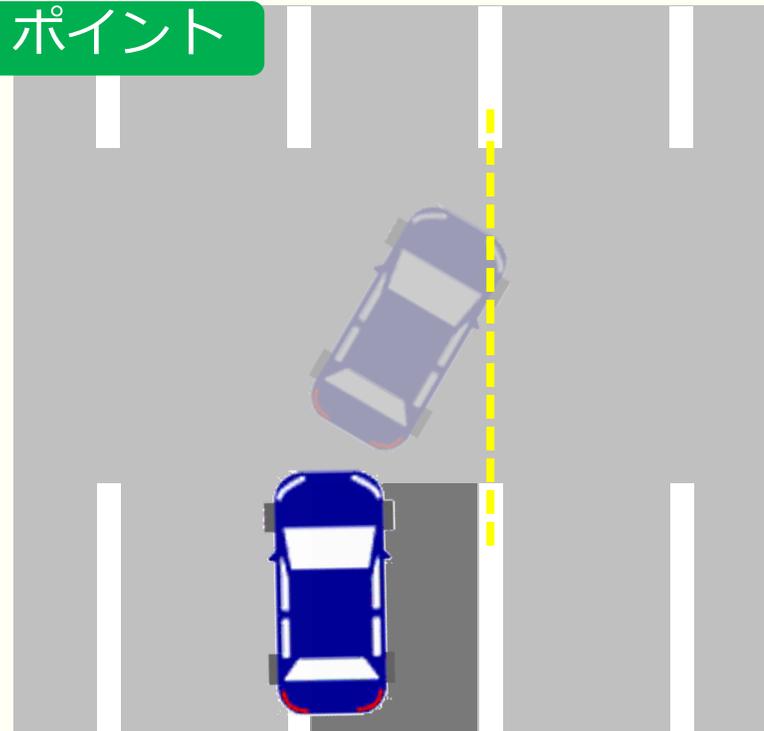
アウト側に流れた時の切り返し_動きの質

基本動作

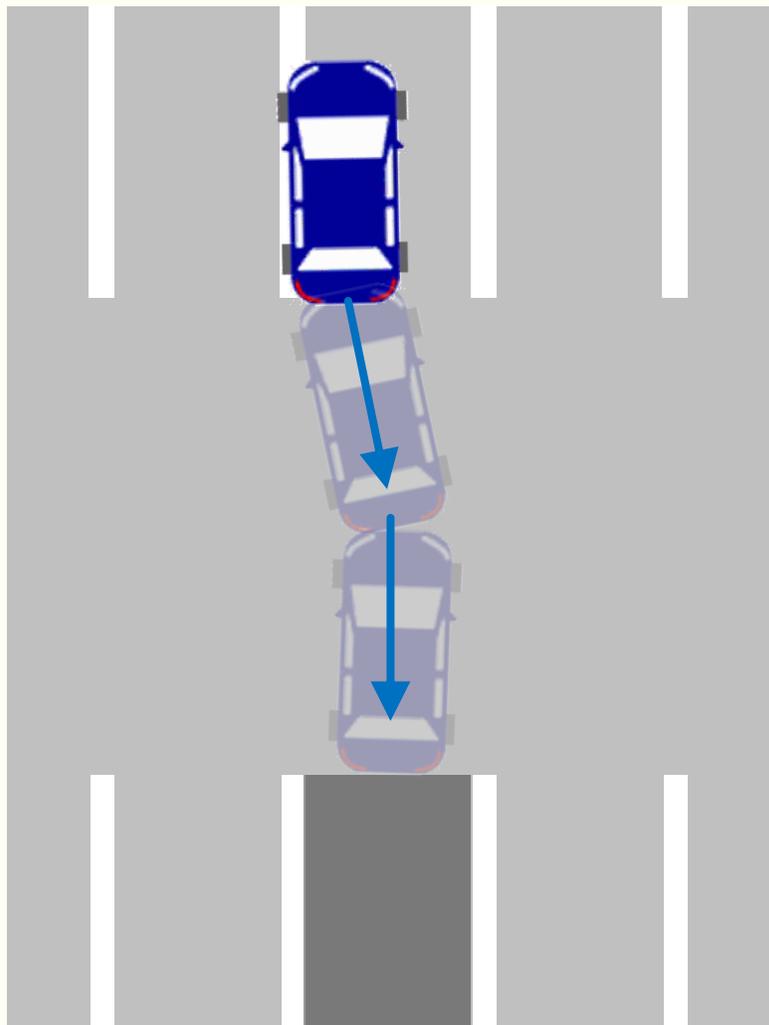


ポジションするには
①寄せる (右)
②水平取る (左)
です。

ポイント



この位置から水平取り (左ハン) を開始します。
前輪は黄色ラインをオーバーしています。
後輪の位置を意識して、左ハンドルの開始位置を
調整してみましょう。



基本動作

最後の仕上げは微調整での入庫です。
やり方・考え方は前に出る時と同じです。

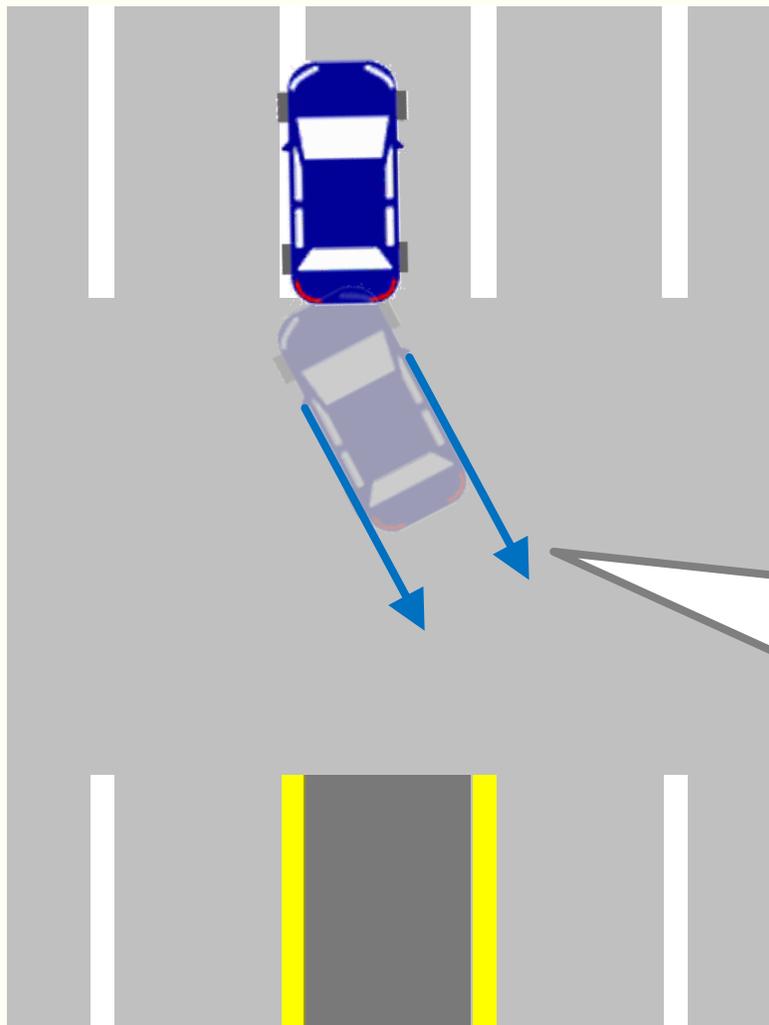
- ①寄せる
- ②水平取る

回す方向

行きたい方向にハンドルを回す。

と、覚えておきましょう。
右に寄せたい時は右に回します。
その後、逆ハンドルをあてます。

- ①右（寄せる）
- ②逆ハン（水平取る）



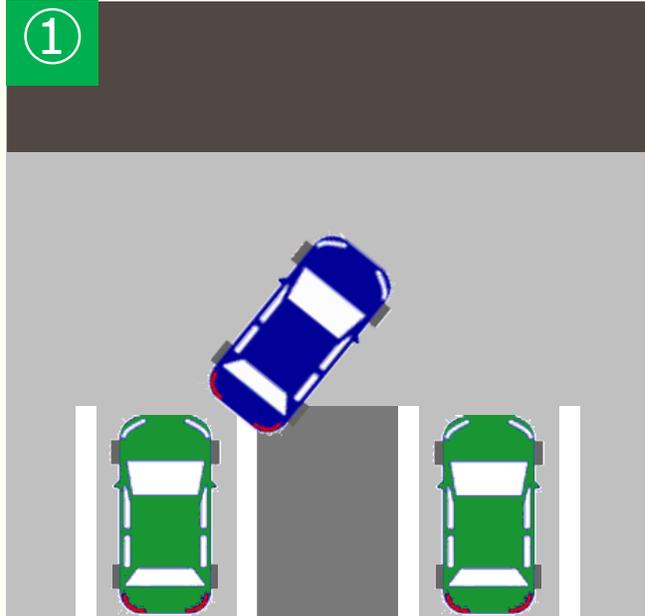
行動イメージ

- ①確認する
(サイドミラーで黄色線を確認しましょう)
- ②行動する
(入庫イメージを整えてから行動しましょう)

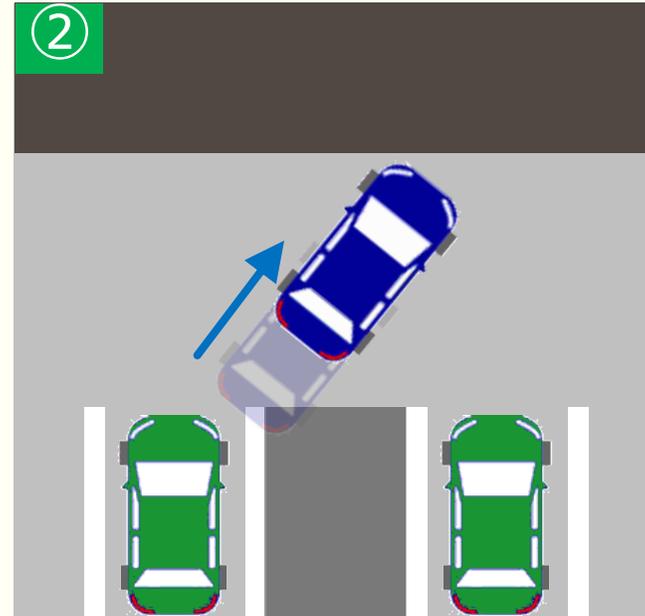
ポイント

- A : 回しすぎない
(回しすぎると外れラインと覚えておこう)
- B : 微調整で入庫する
(感覚を掴めない時はインストラクターの見本を参考にしましょう)

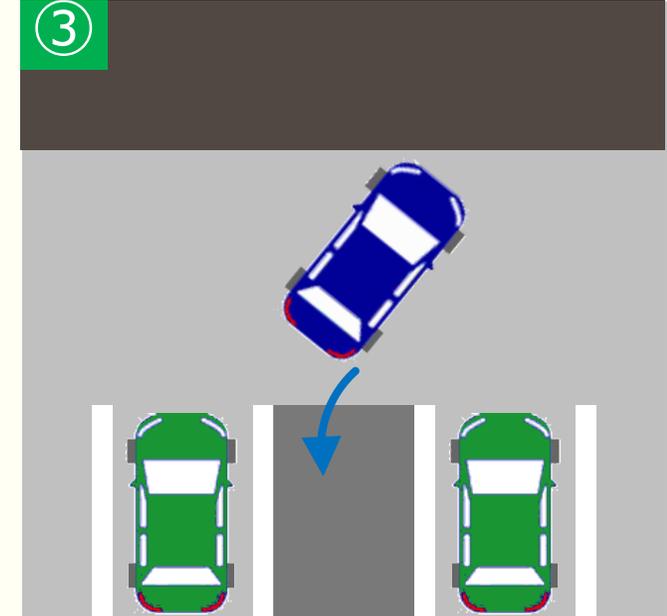
狭い場所でのアウト側の切り返し A



狭い駐車場ではアウト側に流れてしまいがちです。そんな時は



一旦ハンドルを真っすぐにして、出来る限り前に出ます。

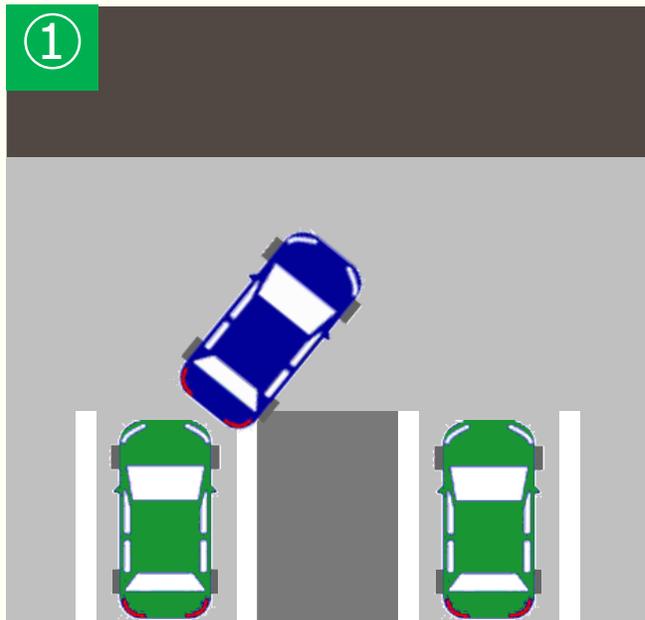


その後、入庫を再開します。

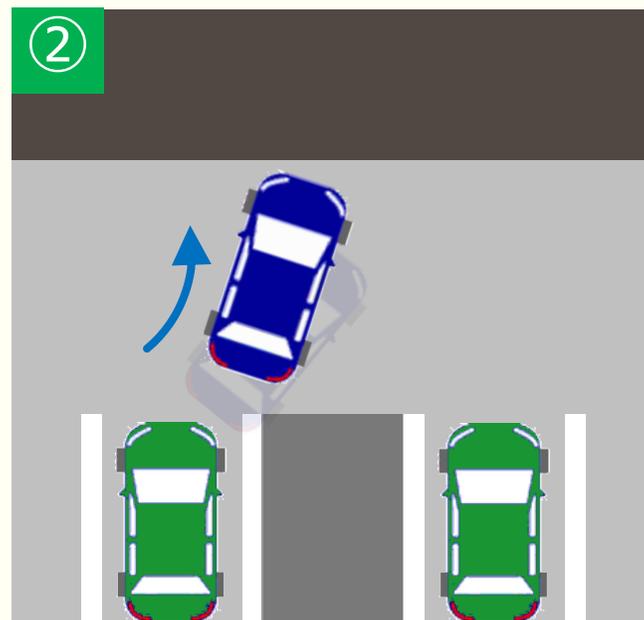
入るまで①～③の手順を繰り返します
多少時間がかかっても、安全に修正できます。

狭い場所でのアウト側の切り返し

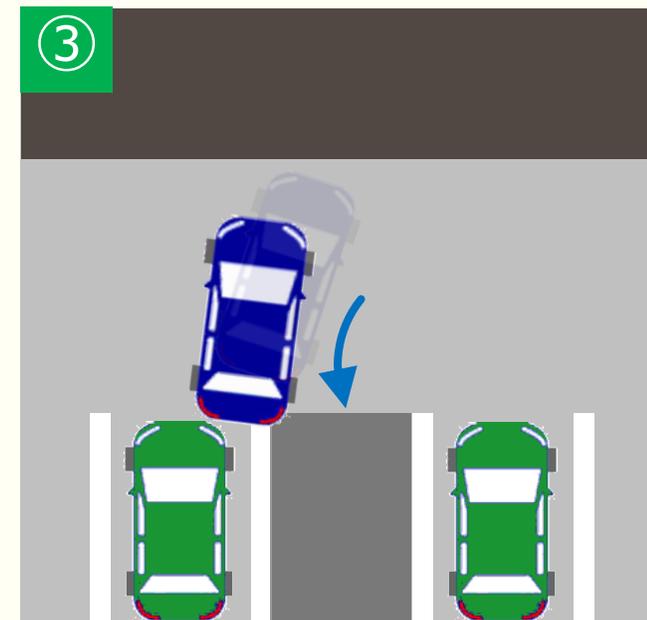
応用



安易に「左全切り」すると



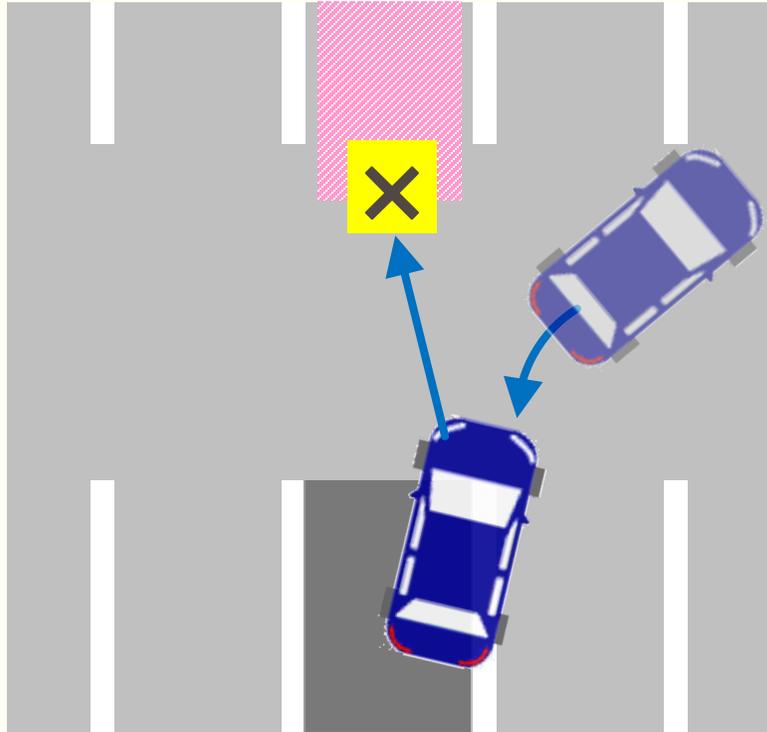
「ドツボ・ポジション」に
入り込みます



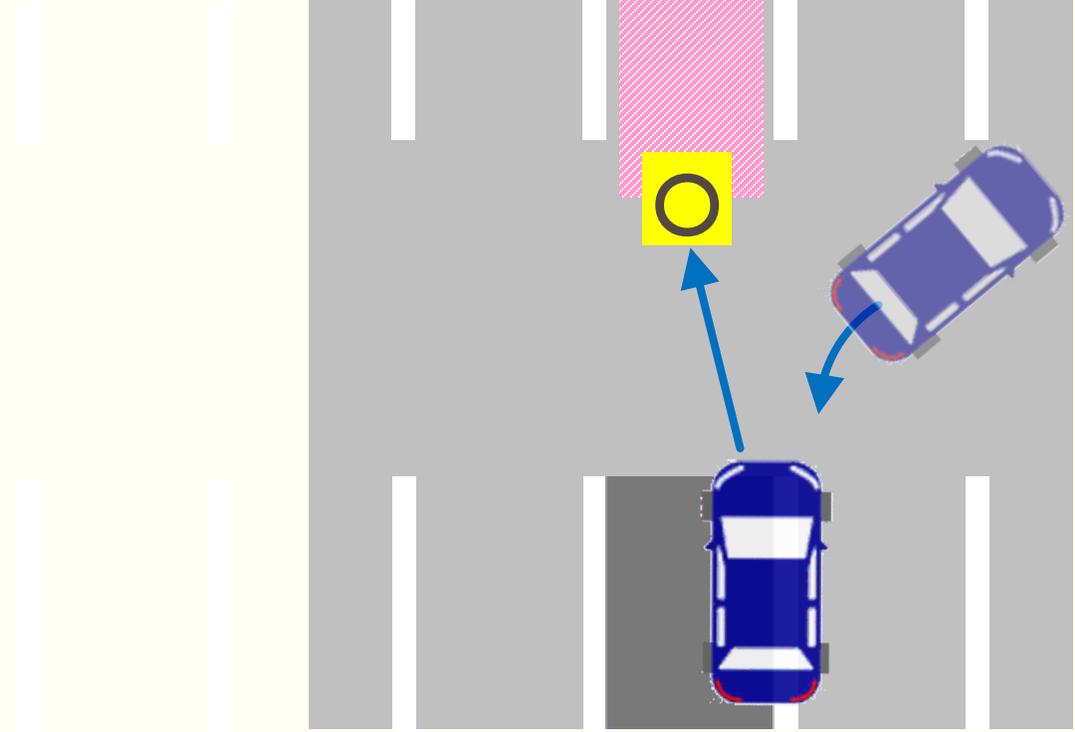
こうなったらどうにもなり
ません。

「左全切り」のリスクも考えましょう

イン側に寄ってしまった場合_切り返しの考え方



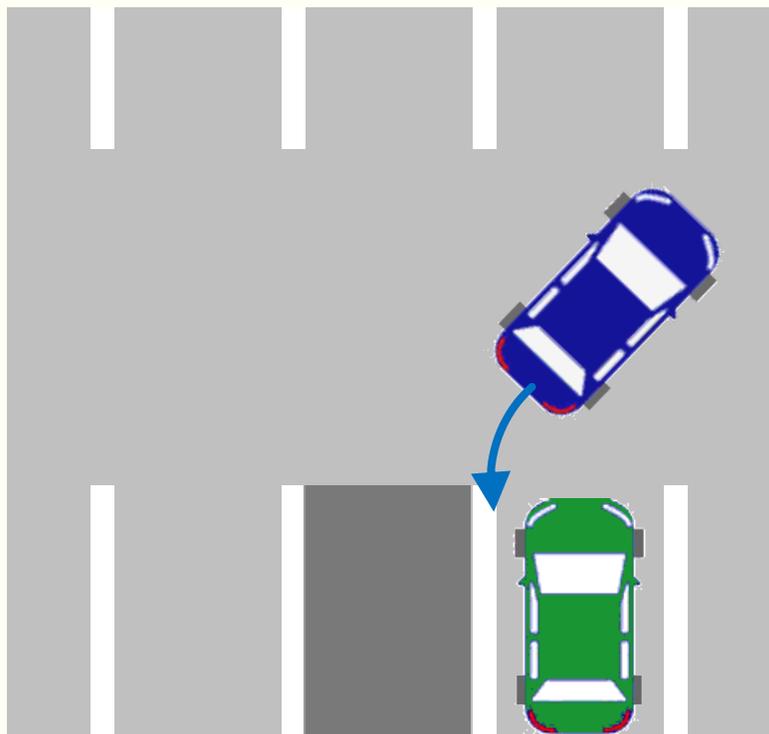
イン側に寄ってしまった場合
 ここから「センターポジション」を狙うには少々無理があります。



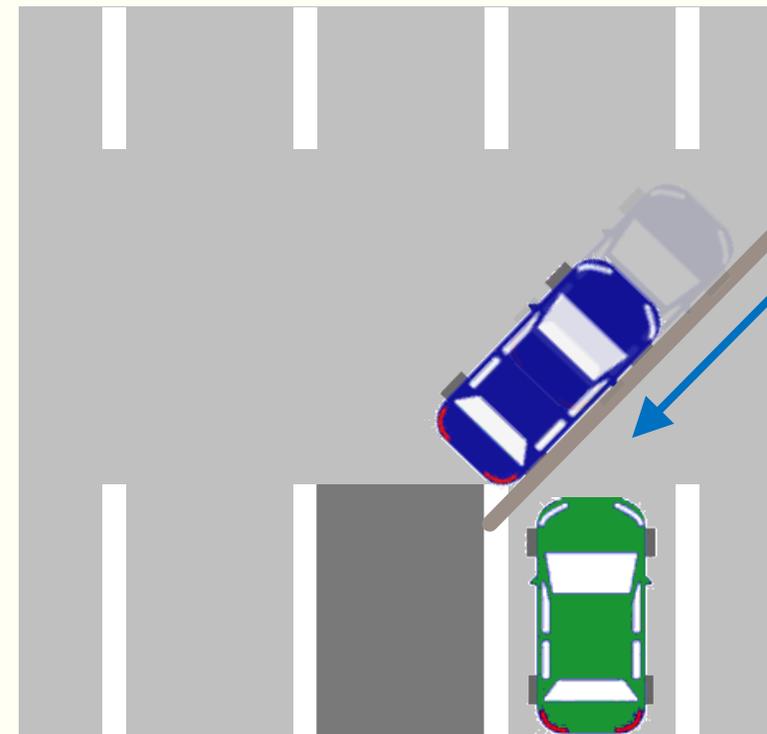
隣に車がない場合のみ
 車体の平行が取れば、「センターポジション」を狙えます。

イン側に寄ってしまった場合_切り返し方法

応用



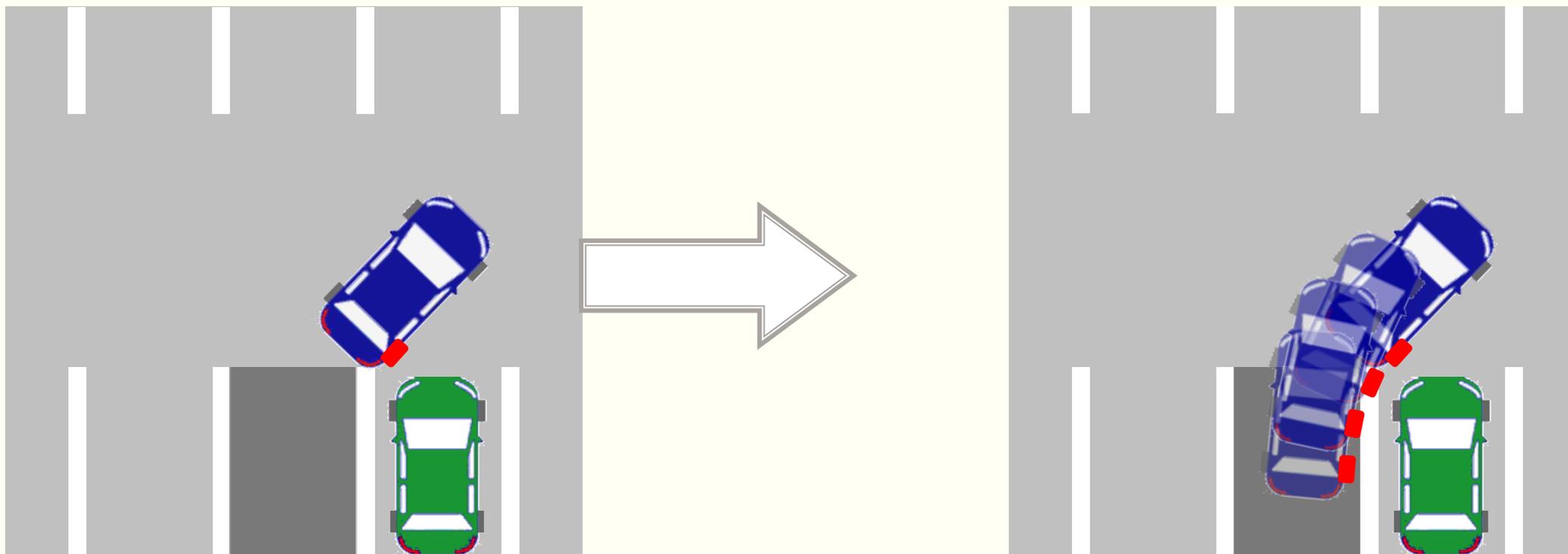
ハンドルを切り過ぎてしまい、**このまま下がる**と**緑車にぶつかってしまいそう**と感じた時は



一旦**ハンドルを真っすぐに**しましょう。
その後、**真っすぐ下がり**ます。

イン側に寄ってしまった場合_切り返し方法

応用

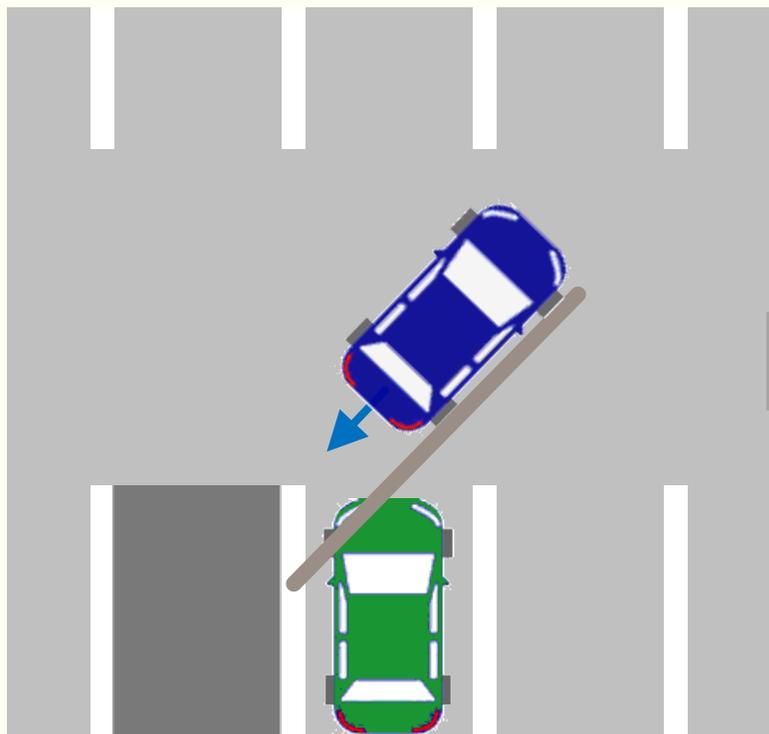


「右後輪」が白線に近づいたら、再度ハンドルを右に切り、入庫を再開します。

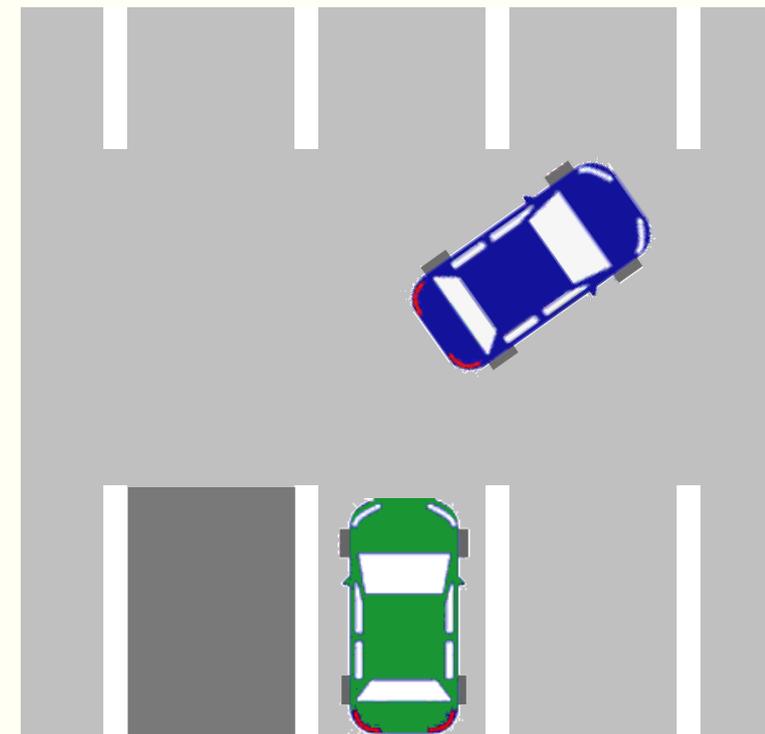
「右後輪」が支点（回転軸）になるため
ハンドルを右に切っても当たりません

イン側に寄り過ぎてしまった場合_切り返し不可

応用



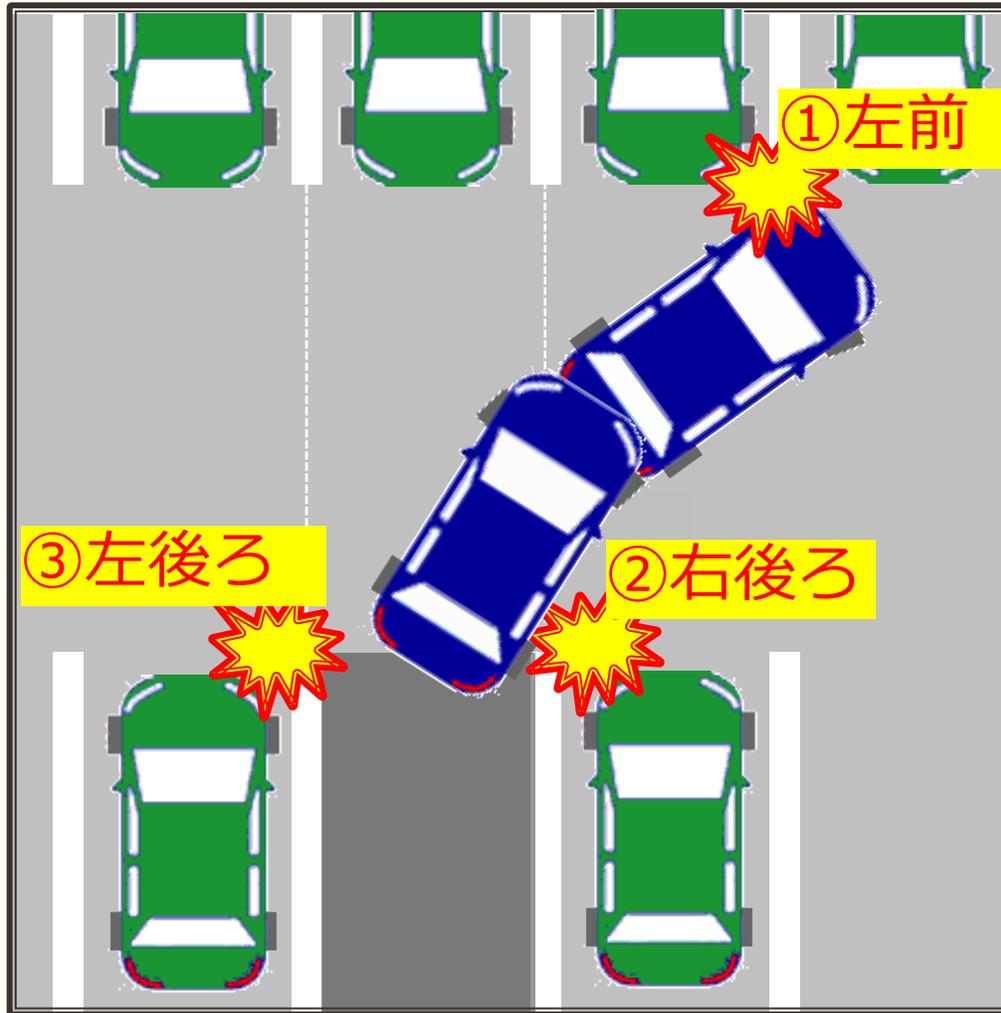
ハンドルを真っすぐにしても
確実に当たってしまうと感じた時は



最初のポジションに戻って
やり直ししましょう

車と車の間に入庫してみよう

ベーシック
トレーニング



安定してきたら、「車と車の間」にチャレンジしてみましょう。

【ぶつかる順番】

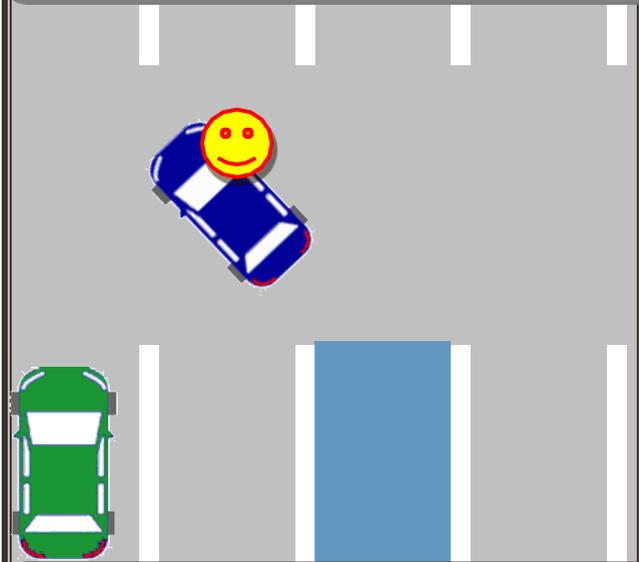
- ①左前
- ②右後ろ
- ③左後ろ

そのまま注意する順番。見る順番になります。

左バックにも挑戦しよう

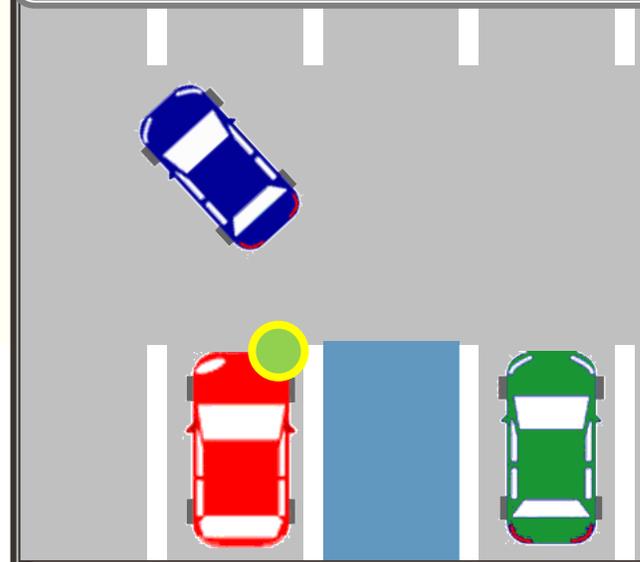
左バックは少し難しくなりますが、**方法論は同じ**です。
ポイントを掴んで同じ手順で挑戦してみましょう。

「目印がない」 白線見えない・難しい



多少ズレても当たりません。
「適当」に入庫してズレたら修正しましょう

「赤車が目印」 距離感は掴みやすい



正確に狙いましょう。「赤車」との「距離感」
を頼りに、ハンドルを回していきましょう。